

# グループホーム こもれば

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	職員一同で意見を出し合い、作った目標が理念となっている	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	時折初心に戻ることも必要と考え、月一回のミーティング時に理念を確認し、実践に生かせるよう心がけている	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	運営推進会議でも発表し、当ホームの事を知っていただけるよう努めると同時に、理解してもらえるよう、働きかけていくことが課題である	当ホームに来所して頂く機会を多くし、取り組みを理解していただけるよう働きかける
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	行事にお誘いする事、日々の散歩にて挨拶することを繰り返しながら、顔見知りとなり、ホームへ遊びに来て下さる方、庭の手入れをして下さる方などが出来た	より、一層の付き合いが出来るよう、今後も現状を維持できるようにしていく
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	運営推進会議を通し、行事や地域活動に参加出来るよう努めるも、現在は行事等少なく、参加に至っていない	入居者の方が参加でき、交流することができる行事等があれば参加できる体制作りに努める

## グループホーム こもれび

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職員、利用者と、地域の衛星活動に参加している		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	代表者、管理者、スタッフを含め、内部評価、外部評価資料を参考に、事情所の改善に努めている		評価を受けることによって今後の実践に生かしていきたい
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告となる事が多い中、貴重な意見を伺い、ミーティングの中で報告、法人を通し検討している		評価の状況等について、次回、運営会議にて報告し、意見を伺い再度検討していきたい
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターへ足を運び、向上出来る事項等ない、情報収集行う		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	情報収集し、入居者御家族より相談等があった場合、相談内容に応じ情報、内容の説明を行う		研修を受ける機会を持ち、研修会を開き職員全員が学んでいけるよう取り組みたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員ミーティング時に、情報交換することで、再認識し防止に努めている		研修会に参加し、職員の学習会を開催していきたい

## グループホーム こもれび

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	利用者のご家族に、十分な説明時間をかけ行っている		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見が出やすいよう、人間関係を深め、事業所内の目につきやすい所に、意見箱を設置		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	月1回、写真付きで、現状の報告、服薬の報告、金銭についても、領収出納帳のコピーを郵送。検査など行った場合は、結果を電話にて報告。来所時には口頭にて報告を行っている		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	御家族が、要望や意見を気楽に言える雰囲気をつくり、相談箱を設置している		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	法人で行われる責任者会議にて職員の意見などを提案する機会を設けている		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	必要に応じ、勤務の調整、法人内、職員に応援求める等し、努めている		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	就業前には引き継ぎ時間を設け、入居者及び勤務に慣れるよう、体制作りにも努めている		

## グループホーム こもれび

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>		職員個々の能力を発揮できる場、新たな発見が出来る機会を作っていきたい
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		各種研修を受け、研修で学んだ内容をホーム内研修として行い、職員皆で向上出来るよう取り組んでいきたい
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		

## グループホーム こもれび

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々にスキルアップ、目標を持ってもらい講習会等の希望があれば、勤務の調整や支援を行っている		講習受講者から講習内容の発表を行い、事業所の勉強会で全職員への指導を行っている
<b>・安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	傾聴を基本に、話せる機会、場を持つように努めている		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人の前では話にくい内容については、場所を変える、後で電話にて話すなど、配慮し、話しやすいように努めている		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現状のサービス内容・問題点、ご家族からの了承を得て、ケアマネージャー、医療機関から情報提供を受け、今後の対応をし、提案するよう努めている		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居日までにご本人にも見学に来ていただいて、他の利用者とお茶を飲んで談話していただくようにしている。御家族ともよく話し合い、入居していただけるようにしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に料理をしながら、料理のコツを教わったり、畑づくり(野菜)、花の名前、昔の歌を教わったりと多岐に学ばせてもらっている		

## グループホーム こもれび

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	現状をお伝えし、ご本人のためにどうしたら良いか、話をするように努めている。又、出来るだけ多く事業所の行事に参加してもらい、直接本人の現状を知ってもらうよう促す。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居日までにご家族より、ご本人のこと、ご本人との今までの関係について、詳しくお聞きしフェイスシートを作成し理解に努めている		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限り、馴染みの物を持ってきていただき、又慣れ染めの人も面会に来ていただけるよう、居心地いい場を提供できるよう努めている		馴染みの場所に行けるよう、体制を整えていきたい
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	身体機能、性格を把握し席順を決めている。又、会話の橋渡しをしたり、レクリエーションのやり方を工夫し孤立しないよう努めている		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている			外部の方をお招きする企画の際、お誘いするなどし、関係の継続を図る
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の状況が把握できるように、会話の時間を持つ。又、困難な場合、スタッフの意見関わりの中での気づきや家族の意見も尊重する		

## グループホーム こもれび

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の情報の収集により、職員全体が(フェイスシート)把握できるように努める		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日中の状況について、個別な変化の際ケース記録にて残す、申し送り等行っている。特に気になる場合日誌への記録も行い把握できるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回のミーティングの報告、日々の申し送りや、職員、御家族の意見、本人の意思、意向を取り入れ作成に活かしている		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況変化につき、職員、御家族に相談している。現状にて変更、追加している		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に残し、情報を共有する。本人の状況をより細かく記載し、計画に生かせるよう呼び掛けている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	要望に答えられるよう支援している		

## グループホーム こもれび

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ひな祭り、クリスマス会で、お話ボランティア(紙芝居、指遊び、ゆるゆる体操)に、協力を得る		幅広くボランティアを受け入れ、地域資源の協働に努めていきたい
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じ重度認知症デイケアを通し、医療面からの支援を得ている		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは地域とのかかわりや運営推進会議で随時相談を行うが、権利擁護利用者はなし		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当医療法人 かん養生クリニック、院長による定期的な受診により、適切な医療を受けることができる。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	当医療法人 かん養生クリニックは、認知症の専門医で、常に相談することができ、治療を受けることも可能		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当医療法人 かん養生クリニックの看護師に気軽に相談に乗ってもらえ、必要に応じ助言してもらい、支援に生かしている		

## グループホーム こもれび

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	入院先の医師やソーシャルワーカーと連携するよう努めている		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	事例なし		ご本人、御家族の希望にそって、ホームで出来ること出来ないことを明確にし方針を検討していく
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	事例なし		御家族、主治医等と相談しながら対応していく
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	自宅での過ごし方等、情報を多く頂く。又、生活リズムを把握し、使い慣れた物を持ってきていただくなどし、不安に感じない様努めている。		
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	日常の中で、声掛け、対応、一人一人配慮するよう努めている		

## グループホーム こもれび

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	声掛けや援助方法、本人の意思を出しやすいように接するよう、心がけている。又、意志を実現できるよう努力している		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り希望に沿えるように配慮している		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入浴、外出時の着替えは、本人と一緒に選んだり、本人の望むものを優先している。美容室等も希望があれば、本人の望む店へ一緒に行っている		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来るだけ一緒に調理を行い、配膳、後片付けもともに行うよう、努めている		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、たばこに関しては、該当なし。おやつ、飲み物は、要望を聞き提供している		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用し、パターンを把握し、声掛けを行い支援している。オムツは極力夜間のみにし、日中はリハビリパンツで対応している		

## グループホーム こもれび

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人の希望を優先し、1対1の対応にて、入浴が楽しいものとなるように努めている		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ご本人からの訴えや、疲労を感じた際は、声掛けを行い休息していただいている。休憩時間は、個別に対応している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご本人が得意なことを把握した上で、役割を分担し、楽しみとなるように支援している。気晴らしとなるよう1月1回は外出の機会をもうけている		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人がお金を持っていないと不安になる方には、御家族了解の上所持されている。買物は職員同行で行き、預かり金にて、買い物をしたもらう		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個人の希望を聞き、出来る限り、その人にあった趣味や活動に沿えるよう対応している。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月1回は外出の機会を設けている。その際、企画に応じて御家族もお誘いする。		

## グループホーム こもれび

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人からの希望に応じおこなう。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	お弁当を持参し一緒に食べられる御家族もいる。又、友人等も訪問して下さり、一緒にお茶を楽しんでいる。居心地の良い場になるよう配慮している		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護保険法指定基準における禁止の対象を十分に把握し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関に鍵をかけることの弊害は理解しているも、現状では徘徊の危険を伴うので、6月より玄関のみ鍵を掛けて、希望により開けている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	声掛けの工夫、プライバシーに配慮し、職員は常に利用者の和に入り見守り行う等行っている。昼夜通し、安全には十分配慮し努めている		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状況に合わせ、身近に薬や刃物等の危険をとまなう物品の管理徹底に取り組んでいる		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	「ヒヤリ・はっと」や事故防止マニュアルを活用し、定期研修をとおり、全職員で事故予防のため周知を徹底している		

## グループホーム こもれび

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	母体病院との連携と利用者の意識不明、ケガ、行方不明等の緊急時マニュアルを整備し全職員で周知できるよう、初任者研修や職員勉強会等で訓練に取り組む		定期的な勉強会では、全ての職員が参加して訓練できるよう、体制を整えたい
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防による年2回の総合訓練を実地。防災マニュアルも整備し、地域の人々と助け合えるよう関わりを、大切なものとしている		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	定期的に心身の状態を報告し、体長に変化がある時は御家族に相談をし理解を得た上で医療機関への受診を行なう。受診後は服薬、状態、注意事項を御家族に報告する		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝、全員のバイタル測定、1日の水分摂取量、排泄も記録として残している。異変があれば母体法人の医師や看護師へと繋ぎ指示をあおぐ		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方一覧表を作成し確認できるようにしている。処方の変更、中止の追加の場合は、日誌の申し送り欄に記入し全員確認している。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維、乳酸菌を摂るよう心掛け、ご飯に玄米を入れ、又、身体を動かすため体操を行っている。		

## グループホーム こもれび

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨きをご本人に行ってもらい、職員は補足をしている。一人一人の力に応じ援助の方法を変えている。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分はご自身いつでも飲めるように工夫している。又、食事量、摂取方法など個別に調整し、体重測定を月1回行い、変化を観察している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防接種は、御家族の了解を得て全員摂取。感染については、共同で使用するのは消毒、手すり等は、塩素系の漂白剤で拭いている。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	冷蔵庫の食品は定期的にチェックしている。又、フキン等は夜勤帯に漂白。調理器具については、乾燥機で乾燥するように努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物周囲には、花壇・畑があり、手入れを近隣の方、御家族も手伝って頂いている。玄関には御家族が定期的に花を生けてくれ、安らぎの空間となっている		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールのは季節に応じた飾りを、皆で作成。庭に咲いた花をテーブルに飾り、季節を感じれるように工夫し、居心地の良い空間になるようにしている		

## グループホーム こもれび

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事のテーブル、ソファが2つ、座敷もありスペースをゆったりかくほしている、それぞれ個人の好きなどころで過ごせるようにしている		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れた物を持ってきていただけるようお願いしている。又、カーテンも好みの色、柄を持ってきていただいている		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	1日2回は必ず換気をし、温度調整は適宜調整するよう心がけている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーになっている。トイレでは、身体機能に合わせ、必要な方は、可動式手すりを使用し、車椅子対応のトイレもあり身体の移動も行いやすいようにスペースをとっている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個人のわかる力を把握し、混乱や失敗を防げるような声掛け、及び見守りで対応するようにしている		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花壇、畑の水やり、種まき、草取りに出来るだけ多く係わって頂き、花摘み野菜の収穫をし楽しんでいる。		

グループホーム こもれび

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

## グループホーム こもれび

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

### 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当事業所は、近隣が閑静な住宅・川・田んぼや公園と落ち着いた環境に恵まれた場所に創設することが出来ました。そして、入居者の方へはご本人に無理のない以前と変わらぬ生活が送れるよう一人ひとりの希望に沿った活動やリハビリを取り入れています。また、入居者とスタッフは、お互いをは同じ場所で生活を営む家族と考え、少しでも身近に感じられるよう接することをモットーとしています。入居者の緊急時では母体の医療法人 かん養生クリニックといつでも連携をとれるよう24時間連絡体制を確保しています。入居者の方へより良いケアを行うため、母体法人より、作業・看護の専門職による技術向上の為の勉強会を行っています。